

【さんすう】

<べんきょうすること>

◆「たりるかな」（きょうかしょ6～7ページ）

(1) ランドセルと ロッカーを せんで つないでみよう。

(2) うさぎと コートかけを せんで つないでみよう。

(3) ねずみと ボールに おはじきを おいて かずを
くらべてみよう。

◆「かたちをみつけよう」（きょうかしょ8～9ページ）

(1) いえの なかから いろいろな かたちを みつけよう。



「まる」や「さんかく」、「しかく」はあるかな？

(2) みつけた かたちは どんな かたちなのか おうちの
ひとに おはなしを してみよう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆「たりるかな」（教科書P6～7）

(1)(2)→「線をつなぐこと」は考えを書いて表現するということになります。

(3)→「おはじきを置く活動」では、絵を数に置き換えることで、比較することができるということを学習します。

◆「かたちをみつけよう」（教科書P8～9）

(1)→見つけた形を仲間に分けさせると、形の特徴等に目が向きます。

(2)→仲間に分けた形の理由を聞いてみるのが大事な学習になります。自分で形の特徴に目を向けて理由を言えたなら、褒めていただきたいと思います。この図形の見方は、秋頃に学習する「かたちあそび」につながります。

※何回かに分けて取り組む等、身の回りのことと、教科書の内容がつながるように関わるのが大切になります。